

RPPC メールマガジン 第 872 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 5 月 19 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

1. R03_定時総会の「書面開催」について

令和 3 年度定時総会につきましては、現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み、6 月下旬
目途に書面で行う方向で調整中です。

詳細が決まり次第、御連絡致します。

※詳細につきましては RPPC ホームページにも掲載していきます。

<http://www.rppc.jp/>

2. 各団体の登録情報について【重要】

5 月以降、総会に向けて議案書等の郵送を行います。

担当者の変更、役職・住所変更等ございましたら

お早目に事務局までお知らせいただきますようお願い致します。

3.NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付致しました。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.国交省・農水省、輸出拡大に向け意見交換。地方の港湾・空港が主役

国土交通省と農林水産省は 4 月 27 日、「効率的な輸出物流の構築に関する意見交換会」
を合同開催した。輸出物流を効率化するためには地方の港湾・空港の積極的活用が重点と結
論づけた。

同交換会では昨年 12 月に政府が策定した「農林水産物・食品輸出拡大実行戦略」に基づ
いた 2025 年に 2 兆円、2030 年に 5 兆円という輸出目標を達成するため、実効性のあ
る方策を検討してきた。最適な輸送ルート、大ロットによる経済的輸出、さらに効率的な物
流の構築が重点要素に挙げられ、地方の港湾・空港が効率化に向けた主役としての位置づけ
がなされた。同戦略は令和 3 年夏を目途に結論を得るとしている。

最適な輸送ルートとして地方の港湾・空港の積極活用が強調された。輸出産地からの直行便
や主要港への経由便を利用することで国内輸送のコストを削減でき、などとしている。

2.横浜港新本牧ふ頭整備 1 期地区。市事業でWTO護岸本体工

横浜市港湾局は横浜港新本牧ふ頭の整備で、今年度に外周護岸B-2の基礎及び本体工2件をWTO案件で発注するとともに、同護岸のケーソン躯体工や外周護岸B-1の裏込工などを発注する。

市は新本牧ふ頭のうちロジスティクス拠点として整備する第1期地区の面積約38haを令和元年度から事業中。

第1期地区では航路側の外周護岸B-1(約500m)と、その延長線上の途中から南側へ折れて直轄の護岸に繋がる外周護岸B-2(400m強)、航路と反対側の外周護岸A(約350m)、中仕切堤(約650m)を整備する。

外周護岸B-1と中仕切堤、既設護岸に囲まれた三角形の区域にリニア中央新幹線の発生土砂を早期に受入れる。土砂投入は秋口以降に予定。

3.大阪港北港南航路附帯施設護岸、今年度に開口部の締切工、

近畿地方整備大阪港湾・空港整備事務所は、大阪港新島地区の北港南地区航路(マイナス16m)附帯施設の整備で今年度に護岸(2)開口部の基礎工事を実施する。第3四半期の入札を予定している。現在整備中の余水吐等内側の工事が終わり次第、締切工事に入って行く予定で、水切りのレベルまで基礎捨石を投入する。これにより附帯施設としての土砂処分場の利用が可能になる。同工事の工期は約12ヶ月で6.9億円~15億円未満のWTO案件。

処分場内では余水吐等工事として、鋼管矢板の打設工事を実施しているほか、同延長工事を現在入札手続き中。同工事も来年2月半ばまでの工期になっていることから、内部への作業船の出入りも完了する。

護岸(2)は作業船の出入り口として約180m区間が開口しているが、過年度の工事でマイナス6m程度まで捨石を投入した断面になっており、開口機能が不要になり次第締め切り工事に入る。

4.三河港4号岸壁で予防保全事業、今年度に設計や施工法検討

中部地方整備局三河港湾事務所は、今年度から三河港神野地区4号地区第4バース(4-4区)の予防保全事業に入って行く。2年度の第3次補正予算で調査費が得られており、これから現地の土質調査に入ると共に、同データも踏まえて基本設計に反映、一部は改良工事にも着手する。

三河港神野地区4-4バースは水深10m延長185m。岸壁構造は前面（岸壁法線部）は鋼管矢板、約30m離れた背後に鋼管杭を打ち内部を地盤改良して土圧を抑えた構造になっている。現在は整備後長年月を経て法線部の鋼管矢板に腐食の進行がみられるほか、ふ頭用地部の液状化も懸念されている。

予防保全事業では過年度の設計検討結果などから、鋼管矢板の腐食進行を抑えると共に、岸壁前面海底地盤をCDM等で地盤改良を施し補強する。また背後からの土圧を軽減するため背後埠頭部分の地盤を地盤改良して自立させ、岸壁への負荷を抑える方法で実施していく方法などを考えている。

※港湾空港タイムス5月17日号から編集

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////